

2026年度

史学研究会例会

テーマ「伝える／伝わる」

日時

2026年4月18日(土) 13:00~18:15

場所

京都大学文学部校舎 第三講義室

京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス本部構内

【会場までの交通】

- 市バス：京都駅より206系統、四条河原町より31・201系統で「京大正門前」下車すぐ
または、京都駅より7系統、四条河原町より3・7系統で「百万遍」下車すぐ
- 京阪電車：出町柳駅下車、東へ徒歩10分

プログラム

13:00~13:15 開会の挨拶、趣旨説明

13:15~15:40 第一部

勅使河原 拓也

治承・寿永内乱における東国・西国間の意思伝達

太田 絵里奈

人物を「伝える」言葉

——マムルーク朝後期人名録における語彙と叙述

稲垣 健太郎

知識を伝える写字生——オスマン朝期アレppo出身の写字生と一七世紀ヨーロッパの東洋学者たち

16:00~17:40 第二部

望月 直人

「万国公法」の「本土化著作」の前段階

——朱克敬『辺事彙鈔』における「中外交接」の「史」的研究

荒堀 智彦

感染症リスクの視覚的伝達とリスクコミュニケーション

——疾病地図の発展と衛生行政の変遷を中心として

17:40~18:15 全体討論、閉会の挨拶

一般来聴歓迎(会員以外の方の来聴も歓迎いたします。事前申し込みおよび参加費は不要です。)

※終了後、懇親会を予定しております。奮ってご参加ください。(18:30~20:00、参加費一般1,000円・学生500円、予約不要)

お問い合わせ 史学研究会事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科内

電話・FAX:075-753-2787(火・水曜日10:00~12:00、13:00~17:00)

Eメール: SHR@bun.kyoto-u.ac.jp